

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県加古川市 加古川市営駐車場

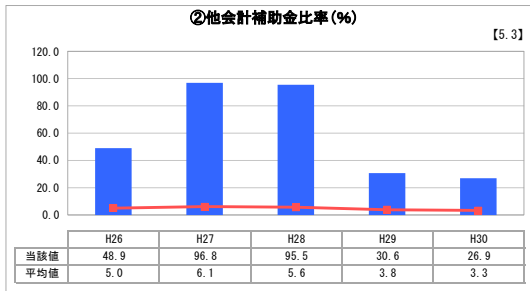
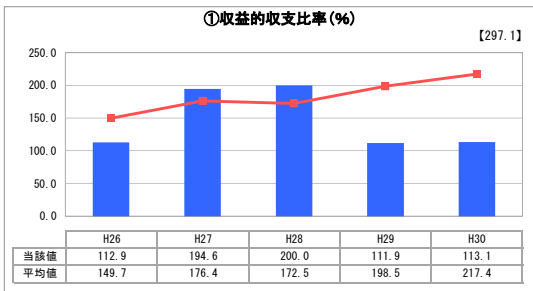
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 1 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	26	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	5,426
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
463	200	代行制

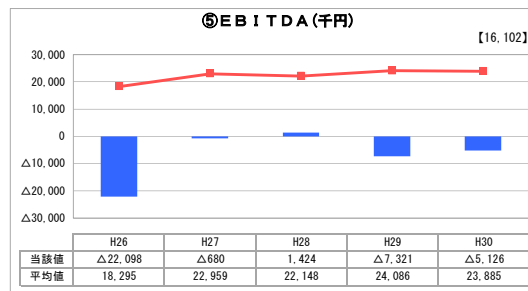
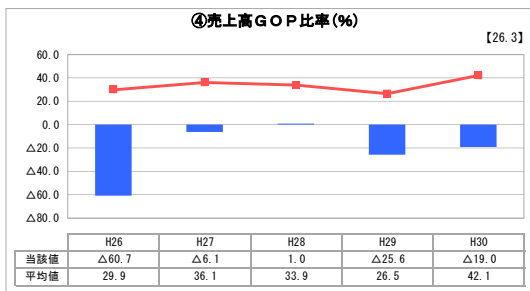
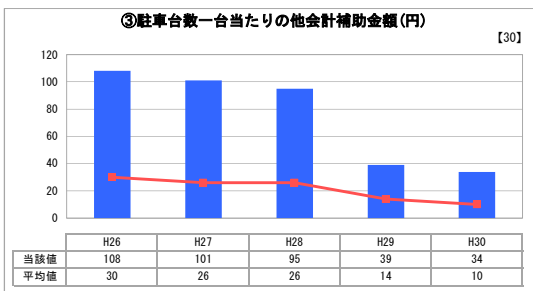
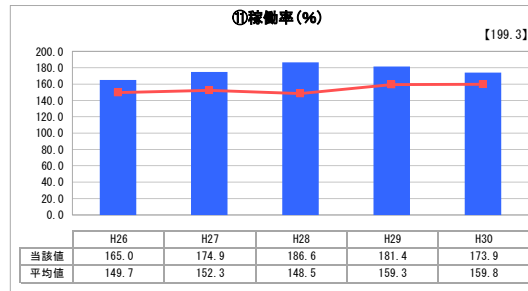
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

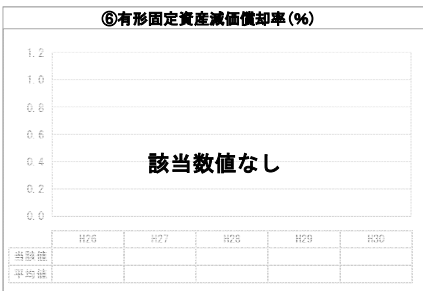
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

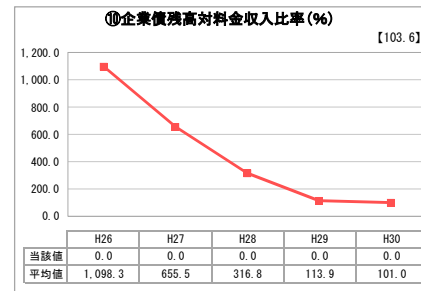


⑦敷地の地価(千円)

250,245

⑧設備投資見込額(千円)

338,200



分析欄

1. 収益等の状況について
 昨年同様、他会計補助金比率の高さ、売上高GOP比率の低さ、EBITDAの低さに着目して分析を行った。

他会計繰入金については、施設修繕費等のために繰入を行っているものの、実質的な営業収益性が低いことから、自力でこうした費用を賄っておらず、他会計繰入金への依存度は高いと思われる。

2. 資産等の状況について

敷地の地価は比較的高額であるものの、設備投資見込額が多額に上っており、立体駐車場であることを考慮すると、当該施設の耐用年数及び今後の維持管理にかかるコストからも、資産全体の価値は高いとは言えない。

3. 利用の状況について

前年度より若干の減少となっているが、平成27年度からの指定管理者制度の導入による顧客サービスの質の高まりや近隣施設である市民会館や市のイベントについては前年度と変わらず充実しており、稼働率もほぼ横ばいで推移している。

全体総括

指定管理者の良好な運営や周辺施設の充実により、駐車場利用者は前年度とほぼ横ばいとなっているなか、総利用台数のうち、市役所の用務来庁者の利用が大半となっている。このことから累積赤字が解消される平成30年度末をもって特別会計を廃止し、一般会計の中で他の公共施設とともに管理を一元化することで、中長期計画による修繕実施、効率的な施設維持管理を行っていくこととなった。